

令和元年度 京都府中丹地域戦略会議 結果概要（概要版）

1 日 時 令和元年8月19日（月）10：00～12：00

2 場 所 北部産業創造センター 2階「多目的ホール」

3 出席者

【委 員】出席9名（欠席3名）

【オブザーバー】各市企画担当課長等

【中丹振興局】綾城局長、小林副局長、福井企画総務部長、常盤健康福祉部長、
嵯峨根農林商工部長、礪岩建設部長、安田港湾局港湾企画課長、
木崎中丹教育局次長 他

4 内 容 中丹地域振興計画（最終案）に対する承認を得るとともに、今後の事業の実施に向けて具体的な提案を受けた。

5 主な意見等

《人口減少対策、UI ターンの推進等》

- ・外国人労働者の定住についても今後配慮が必要。
- ・人口減少の中でも生産年齢人口の減少が課題。
- ・都会と中丹地域との給与水準を埋めるような社会の仕組みが必要。
- ・農林水産業も含めた多様なしごとのあり方やコミュニティで頑張っている大人の姿を、体験などを通じて小中学生・高校生に見せていくような内容を書き込むほうがよいのではないか。

《人権啓発の推進》

- ・人権啓発の実施に当たっては、取組の分野（外国人労働者、障害者、女性、子どもの貧困問題など）が重要であり、地域に特有の課題に重点的に取り組んでいく必要がある。
- ・行政だけでなく商工事業者など地域住民の取組も含めた活動の推進が重要である。
- ・人権啓発回数を増やすのも大事だが、相談できる体制をしっかりとつくり、広く周知されたい。

《子育て・教育》

- ・子育て未来づくり100人会議は、ぜひ多くの企業の参画が得られるようにして、子育てをしながら従業員が働きやすい環境づくりを推進されたい。
- ・企業による子育てへの配慮については、税制上の優遇を行うなど抜本的な取組も必要ではないか。
- ・小学校も1つの学級を1人の教師が教えるのではなく、教科ごとに教師を変えて教えるような検討を。
- ・脱引きこもり対策の取組は非常に重要であり、一人でも多くの方が社会復帰できるように尽力されたい。

《農林水産業振興》

- ・農業はこの数年間の水害などの自然災害で疲弊しており、農地を守ることにつながる治水対策や農業経営体の強化を進められたい。
- ・昨冬は雪が少なく、有害鳥獣が餓死せずに越冬しているため、被害拡大が懸念される。柵の設置だけでなく、森林環境整備なども含めた抜本的な獣害対策を進められたい。
- ・狩猟免許がない人でも有害鳥獣の檻の点検が可能になるような制度改正をお願いしたい。

《観光振興》

- ・観光客の受入れには地域住民の意向をよく聞いて、観光公害（オーバーツーリズム）にならない配慮が必要。
- ・クルーズ客船の効果を地域に波及させる取組の推進や農家民宿への支援が必要。
- ・農家民宿と教育民泊は分けて考えるほうがよい。専業・兼業など農家民宿の形態やサービス内容・価格等が事業者によって大きく異なっており、教育民泊になじむ事業者とそうでない事業者があるほか、教育民泊は一般家庭で受け入れるケースも多い。

《国土強靱化等》

- ・内水被害対策や由良川の土砂撤去を推進していただきたい。
- ・交通事故防止対策として、歩道と車道を分離するガードレールの設置に最優先で取り組まれない。

《その他、府総合計画全般》

- ・京都府全体の問題として、20年後の将来像の想定に危機意識が薄い。気候変動や海・河川のみならず農林水産業の変貌（耕作放棄地や山林の保水力等）を見据えた治水対策が必要。また、「にぎわう過疎」という考え方もあるように、人口減少を前提とした振興方策を考えていく必要がある。